

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	・児童・生徒一人ひとりの可能な限りの自立と社会参加及び社会貢献をめざし、小学部から高等部までの教育内容を改善し、一貫性・系統性のある教育課程を再編成する。	①キャリア教育の視点を盛り込んだ個別教育計画の見直しを図り、ねらいを明確にした授業実践に取り組む。 ②各学部の連携を重視した一貫性・系統性のある教育課程を再編する。	①キャリア教育構造図の視点を盛り込んだ個別教育計画の見直しを行うとともに、各学部において児童・生徒像の共有や各教科等のねらいを明確にした授業への意識付けを図る。 ②公開授業や研究授業においてもキャリア教育の視点を意識し取り組む。小中高の連携を図るため、計画的・定期的に教員の学部間交流を行う。	①キャリア教育の視点を盛り込んだ個別教育計画の見直しができただか。ねらいを明確にした授業への意識付けができたか。 ②公開授業・研究授業においてもねらいを明確に取り組めたか。小中高の連携を重視し、教員の学部間交流ができたか。 ③保護者アンケートのA評価の回答割合70%以上。					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	・保護者との連携に基づき、きめ細やかな指導の実践に努める。 ・児童・生徒、保護者からの学びを大切にしながら、チーム力を活用した授業力の向上に努める。	①保護者との連携に基づき、児童・生徒指導・支援の実践を進める。 ②児童・生徒、保護者からの学びを大切に、校内の人的資源を活用した授業力の向上を図る。	①保護者への広報活動を継続することで、相談窓口を周知し、保護者の相談ニーズに対応することで、児童・生徒の支援に繋げる。 ②教育相談コーディネーターや専門職等が個別教育計画の作成・評価やケース会議等に関わるシステム作りを行う。	①教育相談の窓口を明確にし、保護者の相談ニーズに適切に対応できたか。 ②専門職等が個別教育計画作成やケース会議等に関わるシステム作りができたか。 ③保護者アンケートのA評価の回答割合70%以上。					
3 進路指導・支援	・可能な限りの自立と社会参加をめざす進路指導・支援を充実させる。	①可能な限りの自立と社会参加をめざし、小中高のライフステージを意識した授業内容や進路指導の充実を図る。	①社会自立支援員や進路専任との連携を図り、卒業後の生活を見据えた児童・生徒のコミュニケーション能力や社会性を養う学習活動について整理する。 ②保護者への広報活動を充実させ、進路説明会や事業所説明会の参加率を高め、適切な進路選択ができるようにする。	①児童・生徒が卒業後に必要な力を、各学部段階で身につけるための学習活動の整理ができたか。 ②保護者説明会の実施回数と参加者数、教員の施設研修等の参加者数。					

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)		
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等	
4 地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会及び関係諸機関との連携を図り、児童・生徒がいきいきと生活できる地域社会づくりに貢献する。 ・地域と共に学び、地域における支援教育に関する専門性を向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①共生社会の実現に向け、開かれた学校をめざす。 ②地域の学校や関係機関と連携し、センター的機能の充実を図る。 ③子ども自立生活支援センターと連携し、関係児童・生徒の教育の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①作品展の広報や展示方法を工夫し、地域を対象とした公開研修会等を通して、理解啓発を促進する。障害者スポーツを通して地域との交流を図る。 ②幼・保・小・中・高・特別支援学校のニーズに応じた教育相談を進めるとともに、市町支援チーム会議等を支援する。 ③子ども自立生活支援センターの児童・生徒の学校生活状況を組織的に把握し、必要に応じて対応策を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①作品展参加者のアンケートにおける肯定的評価の割合、公開研修会の開催回数と参加者数。障害者スポーツを通して地域との交流が図られたか。 ②地域の相談ニーズに応じることができたか。巡回相談等の実施回数、支援チーム会議等への参加回数。 ③子ども自立生活支援センターとの適切な連携により、児童・生徒の新たな環境への移行ができたか。 						
5 学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の人格的資質及び専門性の向上を図る。 ・安全で安心できる指導体制及び管理体制の整備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①教員の人権意識と専門性の向上に向けた組織的な研修・研究及び授業改善を進める。 ②保護者と連携し、安全な医療ケア等の実施に努める。 ③地域との連携を重視した防災体制や安全な教育環境の整備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①研究授業や研究協議のあり方を見直し、授業者支援会議を通して授業改善を図る。キャリア教育を意識した学校研究への見直しを行い、公開授業や授業研究を通して授業改善を進める。校内・外の人的資源を活用して、人権意識や専門性の向上を図る。 ②医療ケア等に関する関係者の情報共有を確実にを行うとともに、広報や内容を工夫し、保護者懇談会の充実を図る。 ③防災訓練やPTAとの連携を通して、職員・保護者の防災意識を高め、地域との連携を含めた防災体制の整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①授業者支援者会議により授業改善に結びついたか。キャリア教育を意識した学校研究の見直しを行い、授業改善が図られたか。研修会等を通して人権意識や専門性の向上が図られたか。 ②安全に医療ケア等を実施することができたか。保護者懇談会の充実が図られたか。 ③防災意識や防災体制の整備が図られたか。 ④保護者アンケートのA評価の回答割合80%以上。 						